

女子中長距離ブロック

A 類理科専攻 2 年生 藤田一花さんにインタビューしました！！



○入試方法は何でしたか？

共通テスト受けて、大学一般入試の前期で合格して入学しました！

○受験エピソードあればお願いします！

私は共通テストであまりいい点を取れなかったのですが、もともと B 理(中等理科)に出願しようと考えていたのですが、レベルを落として A 理(初等理科)に出願しました。最終的な出願先を決める前に、大学の先輩に A と B はどう違うのか聞くと、「AB どっちに行っても専門的なこと学ぶから大体は同じだけど、小中高全部取りたいって思っているなら B より A の方が良いよ」と教えていただいたので、全部とれるならそっちの方が良いと思ったこともあって、納得して A 理にしました。実際入ってみると、ホントにその通りで、A の人が中高免許取るのは少ししか授業が増えないのでそこまで大変ではないですが、B から小学校免許を取ろうとすると、たくさん授業が増えて大変そうです。だから、自分がどの免許を取りたいかしっかり考えた上で出願することが大切です！

あと、学大は入試が特殊で、自分の専攻としたい教科のみ(私の場合理科の 2 科目だけ)で二次は勝負します。私は理科の生物の二次に関してはとても自信があったので、合格判定が良くなくても絶対できると信じて受験しに来ました。これだけは負けないということがあれば、それだけでポジティブに捉えることができるし、もしそれが無くても、自分なりにできる限り努力してきた過程は必ず自信につながると思うので、最後まで諦めずにチャレンジすることが大事だということを受験を通して学びました！

○どうして学芸に？ どうして陸上競技部に？

高校の時の 2 つ上の陸上部の先輩が東京学芸大学に入学したことをきっかけに、この大学の存在を知りました。もともと中学校理科の教員免許を取得したいと考えていたので、在学しながら小中高の免許が取れること、入試スタイルやレベルが私に合っていたこと、などなど自分にぴったりだと思って、初等理科を受験することにしま

した。

なぜ陸上部に入部したかということについてですが、高校で陸上を辞めるつもりで大学受験で勉強するために全然走っていなかったのが、最初は陸上部に入部することに抵抗がありましたが、高校の時の先輩に誘われたのと、新しいことを始める勇気がなかったのと、一度離れたことで走ることはやっぱり楽しいなと思ったのとで、そのまま流れて入っちゃった感じです（笑）。

でも今では本当に陸上部に入って良かったな、陸上部の人たちに出会えて良かったなって思っています。陸上部の先輩や同期、後輩たちと一緒に練習や大会で競い合ったり、練習後は沢山お喋りしたり、ご飯を食べに行ったり、遊びに行ったり、、、とても毎日が充実しています。

○1日のスケジュールを教えてください！

木曜日

7:30 起床

|

8:40

| 授業

12:10 昼食

13:30 練習

|

15:30 課題消費

|

16:40

| 授業

18:20

19:00 夕食

20:00

| バイト

22:00

22:20 お風呂

|

23:00 自由時間、ストレッチ、課題等

|

24:00 就寝

○1週間のスケジュールを教えてください！

冬季練習

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
オフ	朝・午後練習	全体集合練習	サーキット	オフ	全体集合練習	午前練習

○オフの日は何をしてる？

オフの日は家で映画を観たり、ドラマを見たり、だらだら過ごしています。昼くらいまで寝て、家から出ない日もあります（笑）

たまにですが、東京の都心の方に遊びに行ってみたり、買い物したりします！

○文武両道は大変ですか？

一年生の春は実験があったり、必修の教養科目があったりで授業が詰め詰めで大変でしたが、どんな時間にグラウンドに行っても誰かが練習しているので、私も頑張らなきゃなという気持ちになって、練習していました。同じ学科の先輩もいるので、課題や授業で分からないところを教えていただいたり、教科書を貸していただいたり、大変だよなって共感してもらえたり、、、とても助かってます！

理科の学科は、1年生の時に毎週2回、実験があります。また、“巡検”という課外授業もあり、学んだことを実際に現地に行って、見たり感じたりできてとても楽しいです。でもどの実験回にもレポート提出が必須で、大変でした（笑）でも、それを乗り越えると他の課題がとても楽に感じたり、2年生以降で余裕が生まれたりして頑張ってたよかったなって思えました。理科の学生は大学に入学してすぐに自分の興味のある分野ごと(物理、化学、生物、地学、理科教育学)に分かれ、その分野に関する授業を取ります。A類でもB類でも理科の学科を目指しているようであれば、自分がどの分野に関すること学びたいかをしっかり考えておくといいと思います。

私も勉強と陸上の両立がしたいと思って、頑張っています。高校とは違って、大学では自分の好きなことを学べるので、楽しく勉強できているし、自分の時間割やバイトなどの予定に合わせて練習メニューを組み、練習しているので、陸上もしっかりできて、本当に毎日が充実しています。

○学芸大学陸上競技部の魅力！

一番は素晴らしい人たちがたくさんいるということです。礼儀正しくて、とても努力家で、優しくておもしろくて楽しい人たちがたくさんいます。ブロックや男女の垣根を越えて、仲良くできるところが学大陸上部の魅力だと思います。試合のときに、応援したり、応援されたり、終わった後は称え合う、そんな素晴らしい関係の中で陸上が続けられるこの環境は何にも代えがたく、私にとっての居場所であり、とても大切です。

○最後に一言！

私も大学受験を経験してきたので、この時期の受験生の、受験勉強は本当にこれで合っているのだろうか、合格できるのか、などという不安な気持ちがよく分かります。不安じゃない人なんかいません。だけど、試験当日に自分ができることを最大限やってきた人と、まだやれることあったなと後悔しながら試験に臨む人では、余裕度が違うし、“自信”で大きな違いが生まれるのは明らかです。陸上でもそうです。やれる練習をやれるだけやっただと思ってスタートラインに立つ人と、あの練習やっとならばよかったなと思いつつスタートラインに立つ人では気持ちの面で大きな違いがあり、前者の方が大きな自信をもって挑戦できると思います。何が言いたいかというと、やれることはすべてやろう！ということです。私は、やることを一生懸命やっていたら必ず結果がついてくると思います。もし表面上の結果などが上手くいかなくても、努力してきた過程は必ず自分の人生にプラスに働くはずですよ。

東京学芸大学を目指している受験生の皆さん、来年の春、お会いできることを楽しみにしています。長くなりましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。